

特別展

蘆雪生動

南紀無量寺への旅

ろ
せ
つ

セ
イ
ド
ウ

重要文化財 虎図 長沢蘆雪筆
(無量寺・串本応挙芦雪館蔵)
【1・3・4期】

2026年 8.11 火祝 - 9.23 水祝

前期(1期・2期) 8.11 火祝 - 30 日 後期(3期・4期) 9.1 火 - 23 水祝

重文25作品 5つの寺院の障壁画を全画面公開!(修復中作品を除く)

■ 開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
■ 休館日 月曜日 (ただし 9/21 (月・祝) は開館)
■ 入館料 一般 910 円 (750 円) 大学生 570 円 (450 円)
※ () は 20 名以上の団体料金
※ 高校生以下、65 歳以上、障害者手帳の交付を受けている方は無料
※ 9/6 (日) は無料入館日

■ 主催 和歌山県立博物館
■ 後援 串本町、串本町教育委員会、一般社団法人南紀串本観光協会、NHK 和歌山放送局

前後期でほぼ全ての作品が入れ
替わります。詳細はこちら▶

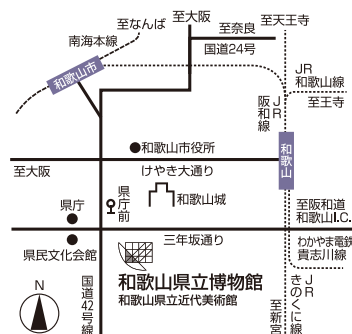


和歌山県立博物館

<https://hakubutu.wakayama.jp>

〒640-8137 和歌山市坂上1-4-14 TEL.073-436-9670 FAX.073-436-6643

— 和歌山城・南側 —



◆JR和歌山駅・南海和歌山市駅からバス・県庁前下車徒歩2分
◆和歌山ICから車で約20分 ◆和歌山港から車で約7分

特別展

ろ せつ セイ ドウ 蘆雪生動 南紀 無量寺への旅

風を起こして目前に躍り出る虎。怖いぐらいの迫力があるのに、どこか愛らしさも感じられる、不思議な絵。

絵師の名は長沢蘆雪(1754～99)。江戸時代、宝永4年(1707)の大地震で、紀州(和歌山県)南部は大きな打撃を受けました。地震から約80年後の天明6年(1786)、蘆雪は再建を果たした3つのお寺—無量寺・成就寺・草堂寺—を訪れて、襖絵を奉納しました。

今の和歌山県串本町、無量寺の境内に建てられ絵を守ってきた収蔵庫は、今年改修工事を迎えます。和歌山県立博物館では工事の間大切な絵をお預かりし、合わせて展覧会を行います。

蘆雪と師の円山応挙による無量寺の障壁画全55面を中心に、成就寺、草堂寺、紀州の旅の最後に立ち寄った高山寺、そして帰京後に奈良薬師寺で描いた障壁画を一堂に展示。重要文化財25作品、総数180点の障壁画に囲まれる空間で、蘆雪画の魅力を感じていただければ幸いです。



重要文化財 龍図 長沢蘆雪筆(無量寺・串本応挙芦雪館蔵)【1・2・4期】



重要文化財 虎溪三笑図(部分) 長沢蘆雪筆(草堂寺蔵)【1・2期】



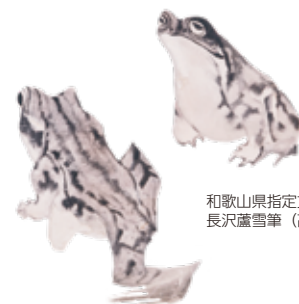
重要文化財 山水図(部分) 円山応挙筆(無量寺・串本応挙芦雪館蔵)【1・2期】



奈良市指定文化財 松虎図 長沢蘆雪筆(薬師寺蔵)【3・4期】(画像提供 奈良国立博物館)



重要文化財 唐子遊図(部分) 長沢蘆雪筆(無量寺・串本応挙芦雪館蔵)【3期】



和歌山県指定文化財 朝顔に蛙図(部分) 長沢蘆雪筆(高山寺蔵)【1・2期】



重要文化財 薔薇図(部分) 長沢蘆雪筆(無量寺・串本応挙芦雪館蔵)【2期】

※会期中、常設展は行っていません。

※前後期で大幅な展示替を行い、前後期それぞれを2期に分けて龍図・虎図(無量寺・串本応挙芦雪館蔵)の展示替を行います。

《前期》

1期：8/11(火・祝)～16(日)
〔龍図〕〔虎図〕同時展示

2期：8/18(火)～30(日)
〔虎図〕の裏面〔薔薇図〕展示

《後期》

3期：9/1(火)～13(日)
〔龍図〕の裏面〔唐子遊図〕展示

4期：9/15(火)～23(水・祝)
〔龍図〕〔虎図〕同時展示

記念講演会 参加費無料・申込不要

9月6日(日) 13:30～15:00 和歌山県立近代美術館(博物館となり) 2階ホール
「蘆雪の南游」奥平俊六氏(大阪大学名誉教授)

博物館講座 参加費無料・申込不要

9月19日(土) 13:30～15:00 和歌山県立博物館 2階学習室
「無量寺の龍虎図の魅力」袴田舞(当館学芸員)

ミュージアム・トーク(展示解説) 要入館手続・申込不要

8月30日(日)・9月13日(日) いずれも13:30～14:30

こどもむけ鑑賞会 参加費無料・要申込

8月22日(土) 10:30～12:00 和歌山県立博物館 2階学習室

けんぱく・こどもゼミ 参加費無料・要申込

8月12日(水)～15日(土) 各日10:30～12:00 和歌山県立博物館 2階学習室



重要文化財 花鳥群狗図(部分) 長沢蘆雪筆(成就寺蔵)【3・4期】



詳細と申込
はこちら